

第4回 県政150周年記念事業実施本部会議 議事録

1 開催日時

令和8年4月13日（月）：部長会議終了後

2 議事内容

○鈴木副知事

ただいまから県政150周年記念事業実施本部会議を始めます。

早速議題の1 県政150周年記念式典について、2 県政150周年記念主催事業について、3 県政150周年記念・官民ネットワークの参加状況・連携事業について、一括文化スポーツ局長。

○文化スポーツ局長

それでは資料1を御覧ください。

議題1、県政150周年記念式典についてですが、令和8年8月21日に福島県政150周年を迎えるにあたり、当日にとうほう・みんなの文化センター大ホールにおいて、記念式典を開催いたします。

招待者は、市町村、国関係機関をはじめ、各分野の企業・団体代表、しゃくなげ大使、官民ネットワーク登録団体の代表者等を予定しており、内容については、歴史を振り返り、未来へとつないでいくものとなるよう、今後詳細について関係団体等と調整を進めてまいります。

次に議題2、県政150周年記念主催事業について、資料2-1を御覧ください。

資料左側にあるとおり、県政150周年となる今年は年間を通して様々な記念事業を展開しておりますが、実施主体に応じて、県が行う主催事業と市町村や民間企業などが県と連携して行う連携事業に分けられます。

資料右側、そのうち、県が行う主催事業につきましては、令和7年度実施分として37件、令和8年度実施分については121件を予定しております。

資料2-2を御覧ください。

令和7年度主催事業の主な内容ですが、冠事業として大ゴッホ展の開催や、ふくしまDC事業などの特別企画をはじめ、ふくしまベンチャーアワード等における150周年賞の創設、記念商品として150周年ロゴマークをデザインしたDCカップ酒等の制作に取り組んだほか、ポスター等による情報発信を行いました。

続いて資料2-3につきましては、令和8年度実施予定の県主催事業を記載しておりますが、庁内各部局の協力を頂きながら、121件の各種取組を進めてまいります。

次に、県政150周年記念・官民ネットワークの参加状況連携事業について、資料3-1を御覧ください。

県政150周年を広く発信していくため、記念事業の基本理念に共感し、協力頂ける市町村、民間企業及び民間団体を福島県政150周年記念・官民ネットワークとして募集したところ、3月31日現在275件の参加を頂いており、広報や行事への協力、事業・キャンペーンの実施などで御協力頂く予定となっております。

資料3-2を御覧ください。

民間企業等が主体となって取り組む連携事業の主な内容ですが、県政150周年を記念し

た企画展や演奏会、講習会等のイベントの実施や、ロゴマークを使用したオリジナル企画や記念商品の製作・販売など、様々な取組を展開頂いております。

引き続き市町村や民間企業等と一体となり、官民連携の取組を県内全域に広げ、事業展開を図ってまいりたいと考えております。

説明は以上です。

○鈴木副知事

それではこの件に関して何かございますか。

それでは、原案のとおり進めていくことといたします。

知事からお願いします。

○内堀知事

明治9年に現在の福島県が誕生してから150年という大きな節目の年を今年迎えます。

本日の本部会議では、県政150周年記念式典、記念主催事業及び官民ネットワーク連携事業について報告がありました。

県政150周年記念事業を通して、県民の皆さんの心の中に改めて郷土への想い、「ふくしまプライド。」を醸成するとともに、起き上がり小法師のように何度でも立ち上がり、七転び八起きで、先人たちが育てこられた「挑戦」と「誇り」を継承し、さらに「シンカ」をさせながら、将来の世代にしっかりとつないで笑顔と希望に満ちあふれた福島を創造していきたいと考えています。

市町村を初め多くの企業団体の皆さんに趣旨に御賛同頂き、連携事業を展開していただいています。

関係の皆さんの御協力、御支援に感謝するとともに、県としても記念式典、大ゴッホ展やふくしまDC等の記念事業をはじめ、官民一体となって、「オールふくしま」で盛り上げていくことができるよう、各部局においてももしっかり取り組んでください。

○鈴木副知事

以上で、会議を終了します。